

平成19年10月24日

熊本日日新聞社 編集局 御中

熊本大学企画部企画課広報室

シンポジウム「徹底討論・自己決定2 その歴史と現在」を開催します。

熊本大学では、このたび、熊本大学拠点形成研究()「生命倫理を中心とする現代社会研究」、及び熊本大学生命倫理研究会の主催により、下記のとおりシンポジウムを開催します。

本年度の中心的なテーマは「自己決定論の研究」で、本シンポジウムでは、倫理学、生命倫理学、法哲学を専門とする三人の先生方に講演していただきます。

現代という時代の主要なキーワードともいえる「自己決定」ですが、近年になって盛んに使われ始めました。そして、重要な概念であるにもかかわらず、背景には種々の倫理学理論が控えていて、その意味を端的に説明することは容易ではありません。

本シンポジウムでは、まず、歴史的に見て、自己決定という概念が自由概念とどのような関係をもってきたのか、そして、アメリカで自己決定という概念が本格的に登場する背景、さらには、「死ぬ権利」や「ヒト胚研究」という具体的な問題において、「自己決定権」はどのように扱われるのか、また、その際の「プライバシー」概念との関係について話していただきます。

その後、質疑応答の時間で、自己決定概念について議論があります。

つきましては、広く一般の方にお知らせしていただくとともに、当日の取材方、よろしくお願いたします。

)熊本大学拠点形成研究とは、重点的に予算を配分して、グローバルCOEプログラムを目指している研究です。

記

【日 時】平成19年10月27日(土) 13:00~17:30

【場 所】熊本大学 くすの木会館レセプションルーム(黒髪北地区)

【演 題】1. 「自己決定」の系譜と展開

小柳 正弘 氏(琉球大学法文学部准教授・倫理学)

2. 死ぬ権利 - アメリカ生命倫理における自己決定論の系譜 -

香川 知晶 氏(山梨大学大学院工学総合研究部教授・生命倫理)

3. 自己決定とプライバシー: ヒト胚資料の法的地位を手がかりに

奥田 純一郎 氏(上智大学法学部准教授・法哲学)

参加費無料、事前申込みは不要です。

詳細は熊本大学ホームページに掲載しています。http://www.kumamoto-u.ac.jp/

~お問い合わせ~

大学院社会文化研究科 教授 高橋 隆雄

TEL: 096-342-2405

E-Mail: ttaka@gpo.kumamoto-u.ac.jp